

⑦世界遺産「日光の社寺」の玄関口における橋梁補修事業 一般国道119号 日光市日光橋

受賞機関 栃木県 日光土木事務所

キーワード 橋梁長寿命化、世界遺産「日光の社寺」、神橋、情報発信

全建賞審査委員会の評価ポイント

長寿命化を図る橋梁補修事業。世界遺産の玄関口に位置する橋梁の補修に際し、近隣の幹線道路の通行止めの時期と重なる中、施工順序の工夫や情報発信により交通への影響を極力抑えつつ、観光名所との調和を図った外観美化やバリアフリー化等に取り組んだ点が評価された。

1. はじめに

栃木県日光市東町地区の一般国道119号は世界遺産「日光の社寺」への参道として利用されるとともに、第一次緊急輸送道路、沿線地域の生活道路として重要な役割を担っている。本路線の終点に架かる日光橋は「日光の社寺」の玄関口に位置し、国際的な観光名所である「神橋」にも隣接しており、多くの観光客が往来している。

2. 事業の概要

日光橋の上部構造は単純合成鋼板桁、下部構造は重力式橋台の構造形式で、昭和37年に架設され60年経過した橋梁である。本事業は、定期点検において主に鋼材・支承・伸縮装置の腐食、床版の剥離・鉄筋露出、歩道部の浮きが確認されたため、橋梁補修により長寿命化を図るものである。



日光橋の観光客の利用状況（奥は神橋）

3. 事業の成果

橋面補修や塗装塗替えにより、周囲の観光施設との調和が図れた美しい外観を形成するとともに、橋梁歩道部の滑り止め舗装の施工や点示ブロックを更新し、様々な利用者に対する安全性を考慮した。

橋面上の施工に当たっては、並走する日光宇都宮有料道路の全面通行止め時期が重なるため、工程調整や施工

順序を工夫し、交通への影響を極力抑えたくうえで昼夜間の施工により実施した。

また、すだれによる仮設設備の目隠しを行い、周囲景観への調和を図るとともに現場事務所前にベンチを設置し観光客に配慮した。

さらに、当該事務所HPやX（旧Twitter）を活用して工事情報を一般に配信するとともに、工事現場にデジタルサイネージ（電子看板）を設置し進捗状況を地域住民及び道路利用者に周知したことで、地元住民及び観光客に建設業界の理解を深めるとともに交通渋滞の緩和を図ることができた。



安全・安心な通行の確保と美しい景観の形成

4. おわりに

今回の工事においては、現場条件に応じた工程調整、施工順序の工夫及び各種情報発信を行い、交通への影響を極力抑えながら橋梁の長寿命化を実施した。さらに、周辺との調和やバリアフリー化により世界遺産「日光の社寺」の玄関口としてふさわしい街づくりにも貢献できたのではないかと考える。

今後も、それぞれの現場に相応した方法で土木施設の保全を行うとともに、建設工事や建設業界、日光の魅力を発信していきたい。